



生活と政治をつなぐ

2024 冬

第76号

# いきいきレポート

発行者責任者  
代表・加藤まさみ  
nakanonet1987@gmail.com

発行 中野・生活者ネットワーク

TEL・FAX 03-5942-6793

## 巻頭言 バタフライエフェクトを信じて、地域から広める安全と安心 代表 加藤まさみ

2023年は、感染脅威は衰えたもののコロナ禍は社会に深い傷跡を残し、各地で国や地域の対立・戦火が絶えず、CO2削減が進まない間に気候変動・気象危機はより深刻になりました。世界の出来事が日々の生活に影響することを実感した年でした。

中野区議会議員選挙(4月)から8か月がたちました。中野・生活者ネットワーク(中野ネット)は、地域政党として、細野かよこは2期目の議員として、メンバーはそれぞれの分野で活動をしています。

2024年にどんな希望を託せるでしょうか。地球規模で疫病・戦争・災害がないことはもちろんですが、見方を変えれば世界の平和は小さな地域の安心安全の積み重ねでもあります。中野ネットは福祉と環境を最重要課題として取り組んでいます。福祉は一人ひとりの幸せのためにあり、環境は幸せな社会を支える確かな土台でなければならないからです。私たちは小さな蝶の羽ばたきが社会を変えるバタフライエフェクトを信じて、日々の生活と政治をつないでいきます。

## メンバーの活動1 中野区にも常設のプレーパークが！ 子ども部会 大橋美紀

2023年10月16日、中野区議会子ども文教委員会で「令和7年秋に常設プレーパークを江古田の森公園に開設する」という子ども政策担当課長の報告を聞いて、私は嬉しくて涙がこぼれそうでした。というのも、これまで長い道のりがあったからです。

川崎市でプレーパークを運営していた私は、1993年に上高田に転居後間もなく上高田台公園のリニューアルに伴う建設委員会に参加しました。プレーパークの開設を目指しワークショップ方式の話し合いを提案しましたが、時期尚早と実現しませんでした。2年後にバスケットゴールのある運動広場と、大型遊具やビオトープ、草地のある上高田台公園が開園、地元有志で運営委員会を立ち上げ、9年後の2004年に定期開催のプレーパーク「夢発見！草っパラダイス」(月4回程度開催)を

始めました。以降ずっと常設化を要望してきたのです。

### 中野区子どもの権利に関する条例が後押し

酒井区長のプレーパーク常設化の選挙公約、医師会も外遊びを推奨、ママたちの活躍で定期開催するプレーパークが増え、次第に機運が高まりました。



いよいよ中野区 夏是水遊びが大人気ですも常設化に向けて動き出しました。私たちが望む、子どもたちが毎日行ける、子どもたちのやりたい気持ちを応援する常設プレーパークが実現するように、今後の展開にしっかり関わっていきます。

## メンバーの活動2 9年目のまちなかサロン「メリーさんのひつじ」 福祉部会 檜垣敦子

童謡、唱歌、抒情歌を歌う会を始めて今年で9年目に入りました。きっかけは、2014年の暮れにNPO法人れんげ舎の代表長田英史(てるちか)さんの場づくりの

講座(中野区社会福祉協議会主催4回連続講座)を受けたことです。カラオケブームでしたが、私はむかしのようにはピアノ伴奏で歌いたいなと思ったのです。

賛同する人が増えて翌年5月にまちなかサロン「メリーさんのひつじ」が誕生しました。毎月第1、第3木曜日(13:30～15:30)に休憩を入れながら10曲を歌います。1曲ずつ時代背景と作られた経緯をお話してからみなさんと歌います。

### 総勢52名の大合唱

11月16日に東京都社会福祉協議会の紹介で1都6県の社会福祉協議会の職員17名が研修でみえました。皆さんに「メリーさんのひつじ」誕生時のお話をしてから、テーマソングの「メリーさんのひつじ」を6番まで1番1番調を変えて歌うのを、一緒に体験してもらいました。

メンバー35名と合わせて総勢52名のかつてない大合唱になりました。「温かい雰囲気、もっと良かった」と全員から感想をいただきました。短い時間でしたが、楽しんでいただけて良かったです。「メリーさんのひつじ」の必要性を改めて感じました。



総勢52名の大合唱になりました

## オープン・オフィス・デイの報告：「盲導犬と歩けば」 話題提供：松田誠二さん

—オープン・オフィス・デイは毎月1回事務所でゲストスピーカーが様々な話題を提供する集いです—

11月は桃園区民活動センターで細野かよこの区政報告に続き、盲導犬との共生を始めた松田誠二さんに体験談をおききました。

松田さんは、小学生の頃から視力が徐々に低下して中途視覚障がいをもつことになりました。白杖を使う歩行は、ものにぶつかることも多く、長男と手をつないでいました。長男の「盲導犬が居れば一人で歩けるね」という言葉に押されて盲導犬との共生を決意。審査、7か月間の待機、約1か月を超える厳しい共生訓練を経て、2022年12月から外出できるようになりました。通勤は最寄りの駅から都心まで2回乗り換えています。盲導犬とともに携帯アプリの行先ナビや足に装着して行先を誘導する機器を使い安全な歩行を確保している

そうです。

周囲の方へのお願いとして、外出時の盲導犬は仕事なので声をかけたり撫でたりしないでください。喜んで仕事



講演中の松田さんと盲導犬

事をわすれてしまうそうです。松田さんに声をかけるときはそっと肩にふれて話しかけると良いそうです。

皆さんへのお願いとして、盲導犬と一緒に入れる飲食店(特にラーメン店)が少ないそうです。盲導犬と同伴できるお店の情報を中野ネットまでおしらせください。

### 中野ネットの企画

- ① **何でも相談会**: 毎月第2木曜日 13時～16時(1月8日、2月8日、3月14日)を事務所で開催しています。お気軽にお越しください。
- ② **今後のオープン・オフィス・デイ**: 2月3日「遠距離介護を振り返る」近江真理さんのお話です。
- ③ **細野かよこの区政報告**: 4月に開催予定です。

編集後記: いきいきレポート 76号はいかがでしたか? 今回は細野かよこ「菜の花通信 16」と同時発行となりました。中野ネットの生活と政治をつなぐ活動は、議員と市民が車の両輪となることでパワーを発揮します。皆さまの参加をお待ちしております。

カンパのお願い: 中野ネットはカンパとボランティアで活動しています

郵便振替口座00140-0-670367「中野・生活者ネットワーク」まで!

- ④ **グリーンインフラ推進のための調査をします。**

**生活クラブ運動グループ地域協議会とのプロジェクト**

- ① **ベンチ・プロジェクト**: 暮らしやすいまちづくりの一環でベンチ設置状況を調べるまち歩きをしています。
- ② **ヒトパピローマウイルス(HPV)とHPVワクチン学習会**: 3月開催予定です。

ホームページをみてください!  
一緒に活動しませんか?



中野ネット公式 HP

細野かよこ公式 HP